年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　　地理歴史　科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｈ 組

教科担当者：　（Ａ～Ｈ組：佐藤創）

使用教科書：（『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』（第一学習社）、新詳高等地図（帝国書院）　　）

教科　地理歴史 の目標：　社会的な見方･考え方を働かせ、課題追究や課題解決の活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質･能力を育成する。

【 知識及び技能 】　社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】　社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想する力や考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】　主体的に学習に取り組む態度と、多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情を身につける。

科目　地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味･特色や相互の関連を、位置･分布･場所･人間と自然環境との相互依存関係･空間的相互依存作用･地域などに着目し、概念などを活用して多面的･多角的に考察し，地理的課題の解決に向けて構想する力や、効果的な説明や、議論する力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究･解決しようとする態度を養うとともに、多面的･多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する姿勢などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】世界と日本の人口問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の人口問題について、諸資料から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の人口問題について背景や構造を捉え、主体的に考察する。	●有史以来の地球人口の推移　●人口爆発の実態と原因　●人口転換　●人口急増地域の事例とその要因　●人口停滞地域の事例とその要因　●人口ピラミッド　●統計諸資料の読取りと課題解決に向けての考察　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】世界と日本の人口問題について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の人口問題について、諸資料を用いて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の人口問題について背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	○	○	○	6
	定期考査および解説						2
	【知識及び技能】世界と日本の人口移動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の人口移動について諸資料から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の人口移動について背景や構造を捉え、主体的に考察する。	●プッシュ型人口移動とその事例　●プル型人口移動とその事例　●人口移動と都市･居住問題　●人口移動と国家の領域･国境　●日本の過密と過疎　●日本農業の実態と課題　●食料問題　●産業ピラミッド　●統計諸資料の読取りと課題解決に向けての考察　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】世界と日本の人口移動について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の人口移動について、諸資料から考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の人口移動について背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	○	○	○	4
	【知識及び技能】世界と日本の自然災害について特徴と地域性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の自然災害について自然のメカニズムからその要因を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の自然災害について当事者意識を持って課題解決を考察する。	●地球の構造とプレートテクトニクス　●プレート境界　●地震･津波･火山噴火　●地球の気候分布　●様々な気候災害　●防災と減災　●公助･協助･自助　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】世界と日本の自然災害について特徴と地域性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】世界と日本の自然災害について自然のメカニズムからその要因を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】世界と日本の自然災害について当事者意識を持って課題解決を考察できる。	○	○	○	5
	定期考査および解説						2
2学期	【知識及び技能】欧州の自然と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】欧州の自然と文化について諸資料を活用して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】欧州の自然と文化について背景や構造を捉え、主体的に考察する。	●欧州付近の地質構造　●欧州の気候分布と形成要因　●ヨーロッパロシアを含む欧州の産業基盤と特徴　●資源･エネルギー問題　●ヨーロッパロシアを含む欧州の民族･宗教･文化の地域性と特徴･背景　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】欧州の自然と文化について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】欧州の自然と文化について諸資料を活用して考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】欧州の自然と文化について背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	○	○	○	8
	定期考査および解説						2
	【知識及び技能】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について諸資料を活用して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について背景や構造を捉え、主体的に考察する。	●第２次世界大戦以降の欧州統合への歩み　●冷戦の開始と終焉が与えた影響　●マーストリヒト条約とコペンハーゲン基準　●経済統合と政治統合　●域内格差　●欧州市民教育　●ＰＩＩＧＳ問題　●移民問題　●ロシアとの関係性　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について諸資料を活用して考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】ＥＵの歴史と理念から異文化理解と異文化共生について背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	○	○	○	9
	定期考査および解説						2
3学期	【知識及び技能】複数地域の比較対照によって地域性･法則性･背景要因について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】複数地域の比較対照によって地域性･法則性･背景要因について諸資料を活用して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】複数地域の比較対照によって地域性･法則性･背景要因について背景や構造を捉え、主体的に考察する。	●自然環境の比較　●社会環境の比較　●人文環境の比較　●現代の課題の比較　●対日関係の比較　●配付印刷資料と参考資料のＱＲコード提示によりＢＹＯＤを活用	【知識及び技能】複数の地域を取り上げ比較対照することによって地域性･法則性･背景要因について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】複数の地域を取り上げ比較対照することによって地域性･法則性･背景要因について諸資料を活用して考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】複数の地域を取り上げ比較対照することによって地域性･法則性･背景要因について背景や構造を捉え、主体的に考察できる。	○	○	○	16
	定期考査および解説						2
							合計 58